
死神とゲーム

哀戦士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神とゲーム

【Nコード】

N2920F

【作者名】

哀戦士

【あらすじ】

大学生である田中太郎はひょんなことでしんでしまった。そこには、死神が……。死神との天国か地獄を決めるかをゲームでバトルすることになる。

僕は、ひよんなことで死んでしまった、大学生です。

今、僕がいるのは、天国でも地獄でも無い無の世界です……。

「田中太郎さんですね？」

「……はい。」

ふと見ると見知らぬ男性が立っていた。

普通のスーツを着た男性……、誰なんだろうか？

「あの、あなたは……？」

「おっと、申し遅れました。私は、死神です。」

死神？あの死神？？死神と言えば、鎌を持っていて骸骨みたいなのが黒いマントをかぶっていると思っていたのに普通のスーツを着た人とは、ちょっと驚いたがもう死んでいる身だから、そんなに不思議でもない。

「で、死神さんがなんの用ですか？」

「えっとですね……、あなたが天国に行くか、地獄に行くかを決めにきました。」

なるほど、ここで決めるのか……。

と言うことは、ここは、死んだ人が天国か地獄に行くかを決める場所ってことか。

やっとな謎が解けた。

「どうやって決めるんですか？」

「私とゲームをして、勝ったら天国、負けたら地獄に行ってもらいます。」

ゲーム……、

普通なら生きている時に、いいことをしていた人が天国で、悪いこ

とをしていたら地獄に行くと思っていたが、本当は【ゲーム】で決めるのか。

少し意外だな……。

「なんのゲームで決めるんですか？」

「ゲームの名前は、ストリートファイターです。」

ストリートファイターってこれはさすがに凄く驚いた。

死神とストリートファイターでバトルとは……。

「では、さっそくやりましょう。」

と死神が言うのと目の前にいきなりストリートファイターのゲーム台が置いてあった。

だがこのゲーム、勝てる自信がある。

高校時代、学校をサボってよくやったものだ。

僕は、席に座った、さあ、死神の実力はどんなものなんだろうか。

「では、ゲームスタートです。」

「私の勝ちですね。はい、地獄に決定ですのでこちらの穴にどうぞ。」

「え？もう負けたのか？ちよっとなんなの？？？」

たしかにゲーム画面には、死神が選んだキャラが勝ったと表示されてる。

でもなぜ？？？？？

コントローラに触った覚えも無い……。

どうなってんだ？

「はやく、穴にどうぞ？」

「な、な、なんでだ！こんなの卑怯だ！！どうなってんだよ。」

そんな言葉もむなく、僕は、穴に・・・・・・・・。。。

「あなたが、山田健二さんですね？」
「・・・・・・・・はい。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2920f/>

死神とゲーム

2011年1月18日22時30分発行